

はつらつ体験塾 通信



令和6年度 第1回フレンドリーキャンプ号 令和6年6月28日
新潟県少年自然の家

暑さに負けず、みんなで楽しみました

6月15日(土)・16日(日)に、胎内市の新潟県少年自然の家を会場にして、第1回はつらつ体験塾フレンドリーキャンプが行われました。小・中学生31人、学生ボランティア10人が参加したキャンプの様子をお知らせします。

6月15日(土)

13:00	13:30	13:40	14:10	15:00	17:00	17:30	18:30	19:50	21:30
受付	出会いの つどい	レクリエ ーション	ベッドメ イキング	お菓子 づくり	キャンプ ファイア準備	夕食 休憩	キャンプ ファイア	お風呂 自由	就寝

出会いのレクリエーションでは、最初に「キャッチゲーム」を行いました。全員で輪になって、左手は掌を広げて上に向けます。右手は人差し指を立てて下に向けて隣の人の広げた掌の上に置きます。『キャッチ』と合図をしたら、右手は上に逃げて、左手は隣の人の人差し指を捕まえます。合図の言葉を『キャロット』『キャット』など違う言葉が入って盛り上がりしました。次に、「ネームプレート交換」を行いました。最初に活動班全員で、自分のキャンピングネームと自分の好きな食べ物を紹介しました。その後、他の班の人と同じように自己紹介をして、終わったらその人とネームプレートを交換します。次の人とは、交換した前の人のネームプレートをもとに、前の人の自己紹介をします。3人か4人と交換したら、最後に自分が持っているネームプレートの人を大きな声で呼んで、ネームプレートを返します。最後は、大縄くぐりをやりました。活動班ごとに大縄を飛ばすにくぐって通り抜けます。最初は1人でチャレンジします。その後、2人、3人、最終的には活動班全員でチャレンジします。くぐりぬけるタイミングを全員で考え、スリルを全員で体験することで、お互いの距離を近づけることができました。



ベッドメイキングの後は、みんなが楽しみにしていたお菓子づくりをしました。みんなでバームクーヘンづくりをしました。

バームクーヘンづくりの大まかな流れを説明してもらい、活動班ごとに作業をはじめました。最初は、材料を順番撮りに入れながら混ぜて、生地を作りました。粘りが出るまで一生懸命頑張りました。生地をフライパンに入れて、焼きあがったら巻いていくことを繰り返し、何層かできたらバームクーヘンが乾燥しないようにラップを巻いておきます。少しだけ焦がしてしまった班もありましたが、学生ボランティアと協力しながら、楽しそうにバームクーヘンづくりを進めることができました。また、班全員で協力してきれいに片付けもできました。完成したのが夕食前だったので、そこでは味見程度にして、残りは夕食後や就寝前までに食べるようにしました。



夕食後に行ったキャンプファイアでは、各活動班全員で誓いの言葉を大きな声で言った後、班の代表として選ばれた火の守が点火をしました。点火後は、大きな火となり、しばらく全員で燃え上がる炎を見つめました。次に『以心伝心ゲーム』で盛り上がり、出題されるクイズに全部の班が正解しました。最後に、燃え上がる炎を囲んで、『マイムマイム』を全員で踊って「キャンプファイア」を終了しました。班の結束がますます強くなってきました。



6月16日(日)

6:00	7:30	9:00	12:20	13:00	13:15	13:30
起床	朝食	カヌー・海遊び	昼食	ふり回り	別れのつどい	解散

2日目には、カヌー体験と海遊びに分かれて活動しました。

カヌー体験は、服装や装備品の安全確認をした後、陸上でのパドル操作を確認してからスタートしました。川に出たからは、広い場所でカヌーの基本的な漕ぎ方を練習し、慣れてきたら、橋を越えて奥まで進みました。初めてカヌー体験する参加者も多くいましたが、すぐにコツを身に付けて上手に漕ぐことができるようになりました。多くの参加者から「またカヌーに乗りたい」「もっとカヌーをやりたい」という声が聞こえてきました。

海遊びは、荒井浜で砂浜に落ちている珍しいものを探しながらゆっくり歩きました。じっくりと探した結果、貝殻や珍しい色や形の石、シーガラス、コウイカの骨などを見つけたり、生きているカニを捕まえたりしました。その後、上に積み上げやすい平らな石を見つけて、積み上げる競争しました。シンプルなゲームですが、できる限り積み上げやすい石をたくさん集めることと集中力が必要です。黙々と積み上げていきました。同時進行で、所員が持参した釣り竿で、魚釣り体験も行いました。エサを付けた仕掛けを所員が投げた後、参加者がゆっくりリールを巻いて魚のアタリを待ちます。じっくりとリールを巻いているとブルブルという反応が竿を通じて手に伝わってきます。この瞬間がたまりません。何回かあたりを楽しみながら、今度は急いでリールを巻きます。釣れて上がってきたのは、キスでした。小さいですが、食欲旺盛でゆっくりリールを巻くとエサをしっかりと食べてくれます。



天候に恵まれて、暑い二日間でしたが、その暑さに負けず、子どもたちの熱気あふれる楽しいキャンプとなりました。学生ボランティアの皆さん、保護者の皆様のご協力があり、今回ののはつらつ体験塾も大成功を収めることができました。ありがとうございました。

はつらつ体験塾担当：星野貴之・須田洋介・保坂吉彦